

# 条約改正・産業と文化

## (1) 条約改正

### ① \_\_\_\_\_事件

1886年、イギリスの船が紀伊半島沖で、難破したが、イギリス人は救命ボートで助かり、日本人乗客は死亡した。しかし、船長は軽い刑に終わり、日本では条約改正の声が高まつた。



### ② \_\_\_\_\_の撤廃(1894年)

日清戦争直前、ロシアに対抗するため日本に接近していたイギリスとの間に日英通商航海条約を結び、初めて撤廃に成功した。(外務大臣\_\_\_\_\_)

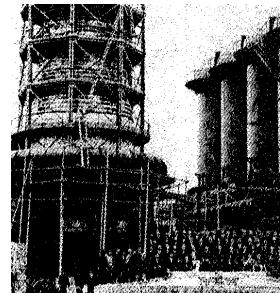
### ③ \_\_\_\_\_の回復(\_\_\_\_年)

日露戦争の勝利で、日本の国際的地位が向上したことを背景に、アメリカとの間で、日米新通商航海条約を結び、アメリカとの間に関税自主権が認められた。これにより条約改正の仕事が完成した。(外務大臣\_\_\_\_\_)

## (2) 近代産業の発展

### ① 産業革命…日清戦争のころから\_\_\_\_\_工業を中心に産業革命が起り、綿糸の輸出も行われるようになった。また、日清戦争の賠償金の多くが軍需産業に使われたことから、

\_\_\_\_\_工業が発達し、1901年には\_\_\_\_\_も完成した。また三井・三菱などの資本家は財閥を形成して銀行や産業を支配し、経済や政治に影響力を持った。



### ② 労働問題…労働者は厳しい労働条件を強いられた。長時間労働にもかかわらず、賃金は安く抑えられ、日清戦争後には労働争議も増加した。

### ③ 公害問題…渡良瀬川では足尾銅山の鉛毒による被害が起り\_\_\_\_\_が被害者の救済に取り組んだ。

### ④ 社会主義運動…1901年に社会民主党がつくられたが、政府はすぐにこれを禁止した。また、1910年には、天皇の暗殺を企てたとして\_\_\_\_\_ら12人が処刑された。(大逆事件)



# 条約改正・産業と文化

## (3) 文化と科学の発達

① 学校教育…明治時代の末には就学率は100%近くになり、義務教育も6年となった。

② 科学の発達…日本の科学者が世界的な業績を成し遂げた。

医学		破傷風血清療法
	志賀潔	赤痢菌の発見
		黄熱病の研究
化学	高峰譲吉	ジアスターイゼ発見
	鈴木梅太郎	ビタミンB1創製
物理	大森房吉	地震計の研究
	長岡半太郎	原子模型完成



③ 近代文学の発展…宗教や道徳にとらわれない写実主義、個人を重んじるロマン主義、社会の現実をありのままに描こうとする自然主義の作品が多く作られた。

坪内逍遙	「小説神髄」
二葉亭四迷	「浮雲」
	「舞姫」「高瀬舟」
	「たけぐらべ」
	「みだれ髪」
	「吾輩は猫である」「こころ」
島崎藤村	「若菜集」「破戒」



④ 芸術の成長…美術ではアメリカ人の\_\_\_\_\_が岡倉天心とともに日本画の復興に努めた。この他に洋画の黒田清輝、彫刻の高村光雲。音楽では滝廉太郎が「荒城の月」「花」などを作曲した。